



# 学校だより

5月号  
横浜市立桜台小学校  
令和3年4月30日発行

こんなクラス・こんな学年…こんな学校にしたい

校長 小宮 健

風薫る五月。校庭の木々の新緑が鮮やかに目に映る季節となりました。

神奈川県下に5月11日まで適用されている「まん延防止等重点措置」のため、昨年度と同様に自粛体制でのゴールデンウィークを迎えることとなりました。措置適用を受けて、学校では新型コロナウイルス感染予防対策を徹底していくように、改めて子どもたちへの意識付けを図りました。ご家庭におかれましても、引き続きご指導いただきますようお願いいたします。

さて、年度の始めにあたり「どんなクラスや学年にしたいか」「どんな学校にしたいか」という質問を教職員に投げかけ、それぞれの思いや願い、価値観が表れた文言を集約しましたので、ここに紹介いたします。

## こんなクラス・学年にしたい

- ・ 明日も来たくなるクラス
- ・ 自分らしさを思いっきり発揮することができ、他者（友達）のよさを受け入れられるクラス
- ・ お互いのよいところを伝え合える、褒め合えるクラス
- ・ 子どもたちがお互いのことを知り、認め合えるクラス
- ・ 一人一人がのびのびと自分の力を発揮できるクラス
- ・ みんなが笑顔で楽しく過ごし、自分の考えや思いを話すことができるクラス
- ・ 安心して失敗できるクラス
- ・ けじめのある、相手を思いやることのできるクラス
- ・ 子どもが自分の思いをもって自ら動けるクラス
- ・ “One For All All For One” 一人のために、みんなの力が集結するクラス
- ・ みんなのために、一人一人が最大限の力を発揮しようとするクラス
- ・ 結果だけに目を向けず、「一生懸命取り組むこと」を大事にし、それを支え合えるクラス
- ・ 児童が自分の居場所と胸を張って言えるようなクラス
- ・ 温かい、居心地のよいクラス
- ・ 子どもたちが安心して笑顔で教室に戻れるような保健室
- ・ 自分から動き出せて、後片付け・後始末のできる雰囲気・空気感のある学年
- ・ 子どもから見て、学年のどの担任も同じ存在に感じるような学年

## こんな学校にしたい

- ・ 明るく、だれにでも自然に「あいさつ」ができる学校
- ・ 人を大切にする学校
- ・ 「がんばっている人」「一生懸命な人」を大切にできる学校
- ・ 「自己肯定感があふれる子ども」を育成するための「自己肯定感があふれる教職員」が育つ学校
- ・ なんでも話せる温かい雰囲気のある学校
- ・ 子どもたちが当たり前のように学校に行きたいと思えるような、子どもたちにとって安心できる学校
- ・ コロナ禍ではあるが、できるだけ健康安全に過ごせる学校
- ・ 児童・教職員が大きなケガをしない、事故のない学校
- ・ 職員の間でも（職員同士が）、「ほめる・しかる」ができる学校
- ・ 互いに声をかけあい育ちあえる学校
- ・ とにかく、音楽が好き、音楽が楽しい、と感じる児童が100%に近い学校

いかがでしょうか…。

これらは、チーム桜台小の教職員一人一人の抱負であり、目標ともいえます。そして、その目標に迫るためには、「具体的・効果的な教育活動をいかに展開していくか」、「的確な指導や支援が意図的・計画的に実践されていくか」、「そこで教職員自身の適切な所作が成されているか」などが肝要となってきます。

桜台小の主役である子どもたちが一層輝いていくように、教職員が一枚岩となって精一杯取り組んでまいります。